

教育目標

心豊かにたくましく生きる子の育成

めざす子ども像

- 成長を信じて丁寧に学ぶ子
- ふるさとや親の職業に誇りと愛着を感じる子
- 進んで体をきたえる子

児童の実態

- ・素直で優しい。
- ・男女仲良く活動し、好んで体を動かす。
- ・何事にも誠実にまじめに取り組む。
- ・自分の思いや考えを表現する機会が今までで少なかった。

保護者・地域の願い

- ・楽しく充実した学校生活
- ・より良い人間関係の構築
- ・児童理解と適切な支援
- ・知育、徳育、体育、食育面からの育成
- ・子どもに関わる情報の発信

重点目標

確かな学力

- 1 わかる・できる授業の展開
- 2 読解力の向上
- 3 家庭学習の工夫と継続
- 4 授業力向上による学力の醸成

豊かな心

- 1 明るい挨拶、丁寧な言葉遣い
- 2 互いに認め合う学級づくり
- 3 保護者への敬愛
- 4 教育相談、支援教育の充実

健やかな体

- 1 体育授業の充実
- 2 基礎体力の向上
- 3 基本的な生活習慣の確立
- 4 健康教育・食育の充実

信頼される学校

- 1 開かれた学校づくり
- 2 家庭・地域への情報発信
- 3 安全・安心な学校づくり
- 4 地域を知り郷土を大切に思う

具体的な取組

- 基礎・基本をスタートに、初めて見る問題にも自力で取り組める根気を付ける。
- 書くこと、読むことの学習を通して、教科の用語を使いながら話したり聞いたりする力を付ける。
- 家庭学習を工夫し、継続させることによって基礎学力の定着を図る。
- ICTを活用し、ユニバーサルデザインの授業を行う。

- 児童会を中心に挨拶や適切な言葉遣いを定着させる活動を行う。
- 体験学習や異学年交流を通して互いの立場を尊重する態度を養う。
- 読書活動や道徳の授業によって、誠実、勇気、保護者への敬愛等の心を育てる。
- アンケートや相談活動、情報モラル教育を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し未然防止等適切な対応をする。

- 運動の質と量を確保し、意欲的に最後まで粘り強く取り組ませる。
- パワーアップタイム等を活用し、基礎体力の向上をめざす。
- 家庭と連携し「早寝・早起き・朝ご飯」で、基本的な生活習慣及び食習慣の定着をめざす。
- 予防を重視した保健指導、給食時間等を活用した食育指導を行う。

- 各学期、学校公開日を設ける。
- ホームページの更新や学年便り・保健便り・食育便り等で積極的に情報を発信する。
- 見守り隊やPTAと連携し、児童の安全・安心を図る。
- 幼保小中の連携を図るとともに、地域の願いを知り、ふるさとを大切に思う心を育む。

検証の手法

- ◇ めあてをもって朝学習や学力向上タイムにまじめに取り組んだと答える児童90%以上
- ◇ やる気を出して、友達の意見や発表も聞きながら、より深く学ぶことができた児童80%以上

- ◇ 子どもは、楽しく学校に通っていると答える保護者90%以上
- ◇ いつかは、必ずできるという気持ちで学習や生活をしたと答える児童80%以上

- ◇ パワーアップタイムに頑張っており取り組めたと答える児童90%以上
- ◇ 子どもは、早寝早起きを心がけ、朝ご飯を食べて登校していると答える保護者90%以上

- ◇ 子どもは、交通ルールを守って安全な登下校を心がけていると答える保護者90%以上
- ◇ 住んでいるところの良さを知り、ふるすとは、大切であると答えることができた児童80%以上

業務改善のための取り組み

- 1 職員室に大カレンダーを掲示し、1年間の行事を「見える化」する。職員全員が先の業務に対して共通の見通しをもつことで、多忙感を減らす。
- 2 職員会議における校長の指示は事前に周知し、当日は対話型の会議を行う。一方的な指示の押し付けを廃し、ビジョンへの参画意識を高める。